



貴 峯 だ よ り

第147号

発行者 (福) 神奈川県厚生協会
理事長 岩淵壽郎

住 所 平塚市達上ヶ丘1-9
電話 0463 (31) 0617(代)

印 刷 貴峯荘ワークピア 印刷科
電話 0463 (35) 6170 (直通)
E-mail : insatsuka@kihoso.net

平成26年4月より

だいいちきぼうかん
第一貴峯館

OPEN!!

今年4月より地域支援センター2Fに指定共同生活援助事業所(グループホーム)として「第一貴峯館」を無事開設することができました。施工してくられた工事関係者の方々、立ち上げに向けてご協力して下さった関係事業所や各市町村、工事期間中、騒音等でご迷惑をおかけした地域住民の皆さま、地域支援センター生活介護の皆さま、そして内覧会にお越しくださった多くの皆様にこの場を借りて改めて感謝を申し上げます。

さて、第一貴峯館には現在、6名の方が順次入居され、活気ある生活を送られています。初めての事業となり、私たちも手探りな部分もありますが入居者の方々と協力し合い、イベント等も企画しながらアットホームで笑顔あふれる環境を作っていきたいと思っております。

また、8月より第一貴峯館を母体としたサテライト事業も開始し、マンションに1名の方が利用を始め、地域の方々及びグループホームの入居者との交流を深めています。

グループホームにサテライトと新事業を開設しましたが、今後とも、より地域に根ざした事業として、第2、第3のグループホーム、サテライトを設置し、より多くの方が安心、安全な環境の中で地域生活の実現が目指せるようサポートしてまいります。

支援第一課 小川拓人

指定共同生活援助事業所
(グループホーム)

だいいちきぼうかん
第一貴峯館

第二貴峯館内覧会会場



研修会 普通救命講習会

平成26年8月7日に普通救命講習会を行いました。講師に平塚市消防の方々をお招きし、心肺蘇生法・AED使用方法について学びました。当研修は、毎年開催しており、緊急時に迅速な対応処置が取れるよう、緊張感を持って取り組んでいます。今年度は10月に2回目を開催し、全職員が受講出来るよう計画しています。



レクリエーション 魚釣りゲーム



芸術の秋。スポーツの秋。みんなで一緒に楽しく作ります。作品は、みんなの気持ちがこもった暖かい作品です。



生活介護では、皆が楽しんで取り組める、創作活動やレクリエーションを基本に、日中活動の提供を考えております。

生活介護 日中活動



第一貴峯館内覧会

3月28日～29日に内覧会を行い、落合平塚市長を始め、たくさんの方々にお越し頂きました。



各居室には洗面所・ナースコール・スプリンクラーが整備され、入居者の方も安心して生活されています。

入居者歓迎会

入居者パーティーや貴峯荘入所者との会食会と、色々な行事に皆さん充実した時間を過ごされています。





雨の台間を縫って、七夕見学に…。多くのボランティアの方々にお手伝いいただきました。



沢山の参加者の方、皆さん練習の成果ですか？イキイキとした歌声に、笑顔と拍手が湧き上がります。



屋上で夕涼みをしながら、花火大会を楽しみました。



バイキング形式の昼食会。目も、舌も楽しめましたね。



様々な演目で、華やかで迫力ある夏まつりが今年もにぎやかにとりおこなわれました。



写真で振り返る 貴峯荘の 行事



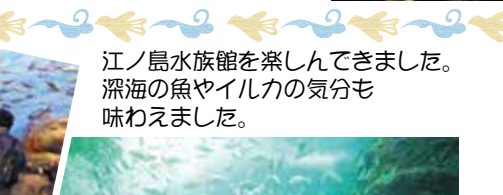
今年は草もちも作りしました。あんなきな粉で…お味はいかがでしたか？



五月晴れ…さわやかに競技できました。メダルラッシュでしたね！皆さんおめでとう!!



春日野中学校吹奏楽部、ブルースカイエコーの皆さんの演奏と歌声に、心いやされ、また感動も…。



真剣な面持ち…リラックスして実力発揮！



今年もビザ実演ボランティアさんが来所。格別のビザです！



杵を打つタイミングにあわせて、みんな「よいしょーっ！」と掛けを！



平成二十六年度事業計画

平成25年12月に国会で、障害者の人権・基本的自由の享有の確保、障害者の固有の尊厳の尊重の促進を目的とした「障害者権利条約」の批准が承認され、また、平成26年4月には「障害者総合支援法」の一部が施行されるなど、障害福祉施策がめまぐるしく変化しています。こうした状況を踏まえ、法改正など到的確に対応するとともに、障害者虐待の防止に向けて昨年度作成した「障害者虐待防止マニュアル」、実態に即して見直した「緊急時対応マニュアル」の活用を図り、利用者のより安心・安全な施設づくりを目指してまいります。

特に、新たに策定した法人経営・施設運営の「基本方針」「重点的取り組み」を定めた向こう5ヶ年間の「第二次中期行動計画」を積極的に推進します。さらに、4月に開所した指定共同生活援助事業所「第一貴峯館」の着実な運営を図るとともに、今年度からの調理業務の委託に伴い、その円滑な導入と利用者の食事の質の向上に努めます。「法人事務局」は、地域支援センター敷地の有効活用について検討委員会を設置し課題の分析を行います。借り上げを含むグループホームの整備を行うとともに身体障害に限らず障害の種別を問わず幅広く受け入れます。新たな事業形態として、「身元保証」や「葬

送支援」の可能性を検討します。「貴峯荘・第一貴峯館」は、受入れ・体験入所への対応・安全面を配慮した職員体制の整備に努め、各部署との連携のもと円滑な支援を行なうとともに、地域との連携・理解を図ります。入所支援、生活介護、短期入所の新規利用の拡大とともに、居室や共有部の環境整備により、支援の充実を図ります。また、余暇活動の充実を図ります。

「貴峯荘ワークピア」は、作成したパンフレットを利用し、貴峯荘への理解と優先調達推進法の周知に努め適正な作業量の確保や新規受注を目指します。材料等の仕入れ先・外注先の開拓と作業方法の工夫・最新機器導入の検討を通じ、作業の効率化の促進を図ります。

「貴峯荘湘南の丘」は、安心、安全で充実した入所生活を送るため、誤与薬のないよう徹底したダブルチェックの確認と、積極的なボランティア募集を募り多様な日中活動の展開に努めます。各種サークル活動、社会活動参加、イベント行事等について地元自治会、地元学校生徒等の協力のもと日中活動の充実を図り、交流の機会の創出に努めます。

「貴峯荘地域支援センター」は、在宅障害者の多様なニーズに応えるため、入浴支援に加え日中活動の充実に努めます。また、地域における障害者の生活を支援し、生活の質の向上を目

指した相談支援業務を充実・強化いたします。

収益事業である「厚生協会クリーナース」は、神奈川県リハビリテーションの再整備に伴い近隣地域への移転構想を検討します。関係機関・支援学校等と連絡を密に取り、積極的な実習生の受け入れを行い、障害者個々の特性を理解し、適切な指導・助言を行い、障害者の技術習得を目指します。

平成二十五年年度事業報告

平成25年度は、貴峯荘創立55周年を契機に障害者の地域生活への移行と在宅障害者の自立を促進するため、平成26年4月の開所に向けて指定共同生活援助事業所第一貴峯館の整備工事を行うとともに、各種記念事業（木下サークス横浜公演）の見学、「ピザ実演会」「カラオケ大会」を実施しました。こうした中で、平成21年度策定した「中期行動計画」（平成21年度～平成25年度）の取り組み成果の検証を踏まえ、法人の役割と課題を明確にすることが必要であることから、障害福祉策を見極めながら、次の5年間（平成26年度～平成31年度）の「第二次中期行動計画」を策定しました。

加えて、利用者の高齢化、重度化による嚥下障害などにきめ細かく対応をするため、平成26年度からの給食調理業務委託化に向けて検討を進めました。また、昨年度策定した「障害者虐待

平成 25 年度決算計算書類

資金収支計算書					事業活動収支計算書								
勘 定 科 目					予算額	決算額	差 異	単位：千円					
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	143,356	147,476	- 4,120	サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	147,503	130,571	16,932		
		自立支援費等収入	453,990	453,178	812			自立支援費等収益	453,178	465,060	-11,882		
		利用者負担金収入	48,787	49,481	- 694			利用者負担金収益	49,481	47,673	1,808		
		補足給付費収入	22,899	20,898	2,001			補足給付費収益	20,898	-	20,898		
		その他の事業収入	4,660	3,376	1,284			その他の事業収益	3,376	9,373	-5,997		
		借入金利息補助金収入	2,001	2,001	0			その他の収益	4,171	-	4,171		
		経常経費寄付金収入	1,000	1,500	-500			経常経費寄付金収益	1,500	834	666		
		受取利息配当金収入	3,200	1,790	1,410			(引当金戻入)	-	522	-522		
		その他の収入	25,810	29,915	- 4,105			(国庫補助金等特別積立金取崩額)	-	34,355	- 34,355		
		事業活動収入計（１）	705,703	709,615	- 3,912			サービス活動収益計（１）	680,107	688,388	- 8,281		
	支出	人件費支出	384,272	393,247	- 8,975	費用	人件費	408,579	357,091	51,488			
		事業費支出	82,712	83,901	- 1,189		事業費	83,901	77,278	6,623			
		事務費支出	43,521	39,712	3,809		事務費	39,712	45,798	- 6,086			
		就労支援事業支出	119,011	124,396	- 5,385		就労支援事業費用	133,774	126,092	7,682			
		支払利息支出	4,730	4,372	358		減価償却費	66,662	70,367	- 3,705			
その他の支出		0	241	- 241	国庫補助金等特別積立金取崩額		- 34,618	-	- 34,618				
		-	-	-	(引当金繰入)		-	4,679	- 4,679				
事業活動支出計（２）		634,246	645,869	- 11,623	サービス活動費用計（２）		698,010	681,305	16,705				
事業活動資金収支差額（３）＝（１）－（２）		71,457	63,746	7,711	サービス活動増減差額（３）＝（１）－（２）		- 17,903	7,083	- 24,986				
施設整備等による収支		収入	施設整備等補助金収入	5,833	5,833		0	サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	2,001	2,175	- 174
	設備資金借入金元金償還補助金収入		12,772	12,773	- 1	受取利息配当金収益	2,557			3,727	- 1,170		
	設備資金借入金収入		50,000	50,000	0	投資有価証券売却益	0			118	- 118		
			-	-	-	その他のサービス活動外収益	25,744			24,477	1,267		
			-	-	-		-			-	-		
	支出	施設整備等収入計（４）	68,605	68,606	- 1	費用	サービス活動外収益計（４）		30,302	30,497	- 195		
		設備資金借入金元金償還支出	27,265	27,113	152		利息支出		4,372	4,734	- 362		
		固定資産取得支出	70,446	70,685	- 239		投資有価証券売却損		696	108	588		
		フィナンス・リース債務の返済支出	0	777	- 777		その他のサービス活動外費用		242	-	242		
			-	-	-		サービス活動外費用計（５）		5,310	4,842	468		
	施設整備等支出計（５）	97,711	98,575	- 864	サービス活動外増減差額（６）＝（４）－（５）	24,992	25,655		- 663				
	施設整備等資金収支差額（６）＝（４）－（５）			- 29,106	- 29,969	863	経常増減差額（７）＝（３）＋（６）		7,089	32,738	- 25,649		
	経常収支差額（７）＝（３）＋（６）			42,351	33,777	8,574	特別増減の部		収益	施設整備等補助金収益	5,833	1,196	4,637
	収入	投資有価証券売却収入	200,000	292,000	- 92,000	設備資金借入金元金償還補助金収益				12,773	12,773	0	
		積立資産取崩収入	3,704	11,734	- 8,030	事業区分間繰入金収益				10,500	2,540	7,960	
拠点区分間繰入金収入		10,448	10,448	0	サービス区分間繰入金収益	39,500		56,140		- 16,640			
サービス区分間繰入金収入		0	39,500	- 39,500	その他の特別収益	100,634		-		100,634			
		-	-	-	特別収益計（８）	169,240		72,649	96,591				
支出	その他の活動による収入計（８）	214,152	364,182	- 150,030	費用	固定資産売却損及び処分損		106	478	- 372			
	投資有価証券取得支出	200,000	352,868	- 152,868		国庫補助金等特別積立金積立額		18,606	1,196	17,410			
	積立資産支出	4,701	4,885	- 184		事業区分間繰入金費用		10,500	2,540	7,960			
	拠点区分間長期貸付金支出	10,448	10,448	0		サービス区分間繰入金費用		39,500	56,140	- 16,640			
	事業区分間繰入金支出	0	10,500	- 10,500		その他の特別損失		98,939	-	98,939			
サービス区分間繰入金支出	0	39,500	- 39,500	特別費用計（９）	167,651	60,354		107,297					
	-	-	-	特別増減差額（１０）＝（８）－（９）	1,589	12,295		- 10,706					
その他の活動による支出計（９）			215,149	418,201	- 203,052	当期活動増減差額（１１）＝（７）＋（１０）		8,678	45,033	- 36,355			
その他活動資金収支差額（１０）＝（８）－（９）			- 997	- 54,019	53,022	前期繰越活動収益差額（１２）		479,520					
当期資金収支差額合計（１１）＝（３）＋（６）＋（１０）			41,354	- 20,242	61,596	当期末繰越活動収益差額（１３）＝（１１）＋（１２）	488,198						
前期末支払資金残高（１２）				200,156		その他の積立金積立額（１４）	17,859						
当期末支払資金残高（１１）＋（１２）				179,914		次期繰越活動増減差額（１５）＝（１３）＋（１４）	470,339						
						繰越活動収支差額							

貸 借 対 照 表

資 産 の 部		当年度末	前年度末	増 減	負 債 の 部		当年度末	前年度末	増 減
流 動 資 産		300,722	240,638	60,084	流 動 負 債		176,859	40,482	136,377
	現金預金	127,666	131,821	- 4,155		未払金	119,188	36,328	82,860
	未収金他	173,056	108,817	64,239		1年以内返済予定借入金	28,777	-	28,777
		-	-	-		1年以内返済予定リース債務	1,037	-	1,037
		-	-	-		賞与引当金	26,237	-	26,237
		-	-	-		預り金他	1,620	4,154	- 2,534
固 定 資 産		2,168,211	2,102,980	65,231	固 定 負 債		397,873	369,898	27,975
	基本財産	1,335,792	1,343,763	65,231		設備資金借入金	328,713	307,490	21,223
	現金 基本財産特定預金	1,000	1,000	0		リース債務	3,370	0	3,370
	土地	215,992	215,992	0		拠点区分間長期借入金	10,448	0	10,448
	建物	1,118,800	1,126,771	- 7,971		退職給付引当金・慰労金	55,342	62,408	- 7,066
その他の固定資産		832,419	759,217	73,202	負 債 の 部 合 計		574,732	410,380	164,352
	構 築 物	15,354	3,465	11,889	基 本 金		36,000	36,000	0
	機械及び装置	23,488	24,006	- 518	国庫補助金等特別積立金		592,559	613,161	- 20,602
	器具備品他	15,139	17,513	- 2,374	その他の積立金		795,303	777,443	17,860
	土 地	-	-	-	次期繰越活動増減差額		470,339		470,339
	投資有価証券	653,223	593,051	60,172	(うち当期活動増減差額)		8,678		8,678
	拠点区分間貸付金	10,448	0	10,448	純資産の部合計		1,894,201		
	その他の積立預金	59,425	58,774	651	負債及び純資産の部合計		2,468,933		
	その他の固定資産（退職給付）	55,342	62,408	- 7,066					
資 産 の 部 合 計		2,468,933	2,343,618	125,315					

防止マニュアル」に基づき、職員倫理綱領、職員行動指針の周知徹底を図るとともに、研修などを通して、人権意識を高めました。特に、日々の業務の点検として、虐待の早期発見チェックリスト、虐待を未然に防止するための職員セルフチェックの活用を図り虐待防止に取り組みました。さらに、「緊急時対応マニュアル見直し検討会議」では、誤嚥等緊急時における救急車出動要請時の対応手順等の見直しを行い、職員個々がその状況に応じて適切な行動ができるよう見直しをしました。一方、利用者の日常生活の質をより高めるため、日中活動のプログラムの充実とボランティアの参加と協力のもとサークル活動の拡大に努めました。このような状況のなか、法人経営・施設運営の「基本方針」と「重点目標」に基づき、利用者や地域の皆様に信頼される法人・施設を目指して事業展開に取り組みました。

授産事業として、貴峯荘、貴峯荘湘南の丘、貴峯荘地域支援センター生活介護事業の利用者が日中活動支援の生産活動に参加し、貴峯荘ワークピアは、就労継続支援事業B型としての就労支援事業を実施しました。今年度の生産活動は、「障害者優先調達法」の施行と法人全体の地道な営業活動と製品の品質管理、納期厳守に努めた結果、対前年度比24％の大きな増を図ることができました。

ご厚意に感謝いたします

貴峯荘自治共済会	会長	西尾 正之
金旭中学校PTA厚生委員会		
(福) 常成福祉会		
丹沢自律生活センター	センター長	伊藤 崇博
(福) 光友会	理事長	五十嵐 紀子
(福) 光友会		斉藤 潔
(福) よるべ会	理事長	星野 泰啓
(福) 県西福祉会 足柄療護園	理事長	松本 信輔
富士見地区民生委員児童委員協議会		
平塚市富士見地区社会福祉協議会	会長	今井 弘
諏訪町会	会長	稲毛 文雄
富士見公民館	館長	坂口 哲雄
高山医院	院長	高山 秀明
クリエーティブカミヤ(株)	代表取締役	藤本 隆平
シオン薬局	代表取締役	野村 勲
株式会社アドワン	代表取締役	若林 洋子
有限会社日本活性濾過工業	代表取締役	田島 恒夫
山王総合株式会社	代表取締役社長	竹口 真
小山(株)神奈川営業所	所長	中島 義友
大栄電子(株)	代表取締役	建 梅夫
いまい印刷		
匠建設(株)	代表取締役	今井 齊
有限会社小川屋酒店		
サポート湘南	理事長	佐藤 豊明
サポート湘南	施設長	小川 文男
静岡銀行 平塚支店		
(株)エス・ケイ・ディ		
(株)安江設計研究所	代表取締役	新田 英雄
ファミリーショップ(有)田辺	代表取締役	今津 一男
	代表取締役	長谷川 辰巳
	代表取締役	安江 知之

個人	小林 充
個人	中元 春一
個人	根岸 弘子
個人	山口 貴
個人	打田 行男
個人	奥田 桂子
個人	小澤 保代
個人	飯曾根多子
個人	松谷由美子
個人	山口 豊子
税理士	鈴木 康太
理事	金田 和子
理事	落合 文雄
理事	落合 正子
理事	三崎 貴義
監事	小澤 正敏
監事	三田 昌也
評議員	米倉 五郎
評議員	山崎 一雄
評議員	鈴木美智子
山田評議員奥様	山田 淳子
元理事	上野 昌良
元評議員	宮代 明信
元嘱託医	佐藤 昇一
理事長	岩瀬 壽郎
	渡辺 克美



● 川本 知彰(やまゆり)

4月より入社した川本です。
まだまだ分からない事、戸惑う事ばかりですが、利用者さんのために、誠心誠意頑張っていきたいと思えます。宜しくお願いします。



● 相原 悟(やまゆり)

以前も勤務していましたが、また戻ってきました。
改めてよろしくお願いします。



● 高橋ふじ子(なでしこ)

この仕事を通して多くの人に喜んでもらえるよう頑張りたいと思います。宜しくお願いいたします。

新 人 紹 介

